

～楽しい福祉を皆さんに!!～

## らくふく瓦版

Vol.4



## 【発行】

川崎市老人福祉施設事業協会

〒213-0001

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内

TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077

http://www.kawasaki-roushikyo.org/

新春を迎えて



新年あけましておめでとうございます。



老人福祉施設事業協会  
会長 深瀬 亮一

皆様にはお揃いで、平成24年の新春を和やかにお迎えになつたこととあ慶び申し上げます。また、年末年始の特別勤務体制の中で想いを新たにして新年を迎えた皆様には、大変御苦労さまでした。

今年は辰年、十二支の内で唯一の天界の動物で、厳しく激しいエネルギーがいる方が多く、中国では辰の年には出生率が上がると言われています。期待したいものです。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、津波で多くの方が被災され、福島原発事故の影響は、国内外に大きな課題を投げかけています。被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早く再起できますようお祈りいたしました。ボランティアとして駆け付けました。ありがとうございました。

このあいさつが皆様のお手元に届くころには、改定率やサービスごとの報酬単価も決まっていくことだと思います。それでも、私たちは介護保険制度の中核を務めるものであり、保険者との緊密な連携の下、万全な対応につとめてゆかなければならぬと思います。

一方明るい話では、昨年は3施設が仲間に加わり近いうち2施設が増える予定で、今後増加することが予定されていますので、事業協会の果たす役割はますます大きくなるものと考えられます。

今後ともより一層の御支援をお願い申し上げるとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

今年も温かい施設の運営に心懸けていこうではありませんか。

# 福祉施設のご紹介

## 社会福祉法人 セイワ 介護老人福祉施設 桜寿園

〒210-0833 川崎市川崎区桜本2-39-4  
TEL:044-287-2566(代表) / FAX:044-287-2577  
URL:<http://www.seiwa-oujyuen.jp/>

「桜寿園」は、川崎の臨海地区に位置し、平成4年の開設から平成24年2月で20周年を迎えます。



趣味のクラブ活動も盛んになりました

下町情緒のある住宅地の中に建ち、うつかりする通り過ぎてしまうような決して大きくなない施設ですが、近くには初詣で賑わう「川崎大師」や焼き肉店が建ち並び「コリアタウン」などがあり、地域イベントも盛んで、入居者の皆さんも住民の一員として参加し交流を深めています。



「敬老を祝う会」で職員が桃太郎の寸劇を披露！

職員は“笑顔”と“思いやり”を忘れずに、季節の行事やクラブ活動はもとより、日頃の何気ない会話の中でのふれあいや、入居者あ一人ひとりの「その人らしさ」を大切にしています。

商店街も近いので、散歩がてらお目当ての洋服を買ったり、喫茶店に入ったり、回転寿司での外食など、地域とのふれあいを楽しんでいます。



これからも、介護保険サービスを提供するだけでなく、長年培ってきた地域ネットワークを生かし、地域福祉に貢献できるよう頑張ります。



中華街でショッピング…赤レンガ倉庫にも行きました



町内会の祭礼では桜寿園が神輿の休憩所です

# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団  
特別養護老人ホーム 長沢壮寿の里

〒214-0035  
川崎市多摩区長沢2-11-1  
TEL:044-976-9003 / FAX:044-976-9672



【施設外観】

長沢壮寿の里には、大変多くのボランティアさんが来所してくださり利用者様の生活に多くの彩りを与えてくれています。

多摩区長沢の小高い丘の上にあり、満開の桜や小鳥のさえずりに心奪われる、自然に恵まれた施設です。

長沢壮寿の里は、昭和64年1月に開設され、現在「特別養護老人ホーム」「短期入所事業」「デイサービス事業」「居宅介護支援事業」「地域包括支援センター」「南平住宅シルバーハウジング生活援助員派遣事業」を運営しています。



【パワーリハビリテーション】

その他、特別養護老人ホームでは、ご家族とともにバザーや敬老会・早春親睦会などの行事をはじめ、ミニ運動会やホーム喫茶にホームバー、ちょっとした外出なども行っています。

毎年夏に行われる夏祭りも、地域の皆様のご協力のもと盛大に行われ、華麗に踊る地域の方々の姿に、利用者様の表情も生き生きとしてきます。



【夏まつり】

利用者様が安心して心地よく当施設をご利用していただけますよう、「愛ある支援」と「人材育成」を念頭に置き、今後も地域貢献に努めていきたいと思います。

デイでは、季節に合わせ、職員が趣向を凝らし、あもてなしの心で日々利用者様に楽しんで頂いています。月に一回行われる保育園児との交流は利用者様だけではなく、職員皆の楽しみでもあります。また、要支援の方を対象に、6種類の器械を使った介護予防に取り組んでいます。歩くのが辛くなりなつたと、利用者様からも好評価を頂いています。



【あやつづくり】

# 福祉施設のご紹介

## (福) 川崎市幸区社会福祉協議会 さいわいデイサービスセンター

〒212-0023 川崎市幸区戸手本町1-11-5  
川崎市さいわい健康福祉プラザ内  
TEL:044-541-8245 / FAX:044-541-7611  
URL:<http://www.csw-kawasaki.or.jp/>

平成18年4月に川崎市からの指定管理者制度の実施に伴い、社会福祉法人川崎市幸区社会福祉協議会が運営を行い始めてから、まもなく6年目を迎えるようっています。

さいわいデイサービスセンターは幸区役所に隣接し、戸手第1公園前の「さいわい健康福祉プラザ」の1階にあります。



さいわいデイサービスセンターでは、神奈川県柔道整復師会川崎支部連合会の協力により、毎週火曜日と金曜日に柔道整復師による専門的な機能訓練を実施し、ご利用者やご家族より大変喜ばれています。

運営にあたっては、「必要な人に、必要なサービスを提供する」を基本として、利用者の皆様がいつまでも元気で住み慣れた地域で、可能な限り自立した日常生活を営む事ができるよう、「在宅生活の支援」「自立の支援」を目指して運営しております。



これからも、ご利用者やご家族の支えとなるよう努力していきます。

日本四季折々の伝統的な行事を計画的に取り入れたり、頭脳ゲーム・ハンドベル・音楽療法を行うことにより、利用者の皆様の心身機能の活性化、要介護状態の軽減、若しくは悪化の防止に努めています。

また、レクリエーションを通しての機能訓練として、セラバンド体操、車椅子ダンス等を行い、身体機能の維持・向上を目指しております。



# 福祉施設のご紹介

社会福祉法人 ひまわりの会  
特別養護老人ホーム 緑陽苑

〒215-0032  
川崎市麻生区栗木台1丁目12番1  
TEL:044-988-5010 / FAX:044-988-7749

定員は70名で2階、1階に分かれ其々4名及び2名の居室になっています。

ひとりが生きてきた人生の歩みの上に、豊かで安心できる「ふつうの暮らし」を送るよう援助とともに、誰もが気軽に出入りができる開かれたホームをめざし地域との交流も大切にしています。

社会福祉法人ひまわりの会 緑陽苑は、1989年の開設以来、高齢者をぐらしの主人公として尊重すること、ひとりひとりが生きてきた人生の歩みの上に、豊かで安心できる「ふつうの暮らし」を送るよう支援とともに、誰もが気軽に出入りができる開



【玄関】



【納涼会】

苑では、食の楽しみを大切にしたいと、1人1人の嗜好と状態に合わせた食事提供に努め、年4回のバイキングなどの行事食、正月膳にも工夫をこらしています。バイキングは、家族会の全面的な協力のもとに実施しています。

短期入所は、4名で、川崎市から「川崎市養護老人緊急一時入所事業」を受託し緊急に一時入所が必要な方の受け入れも行っています。

また、居住者の方々が地域の住人として地域の方々と交流でき、また、地域の方々が気軽に施設を訪れることがであります。

す。地域との交流のための情報発信の媒体として、機関誌「いきいき」を季刊しています。



【アニマルセラピー】

Vol.4

# らくふく瓦版

～楽しい福祉を皆さんに!!～

## かわさき老人ホーム作品展開催!

同時に川柳も展示し、応募65作品の中、来場者投票により最優秀賞を1名、優秀賞を13名が受賞した。最優秀作品は、「ありがとうたつた五文字でみんなしあわせ」 鈴木みつ子氏（しゅくわら）が選ばれました。気持ちの伝わる作品が来場者の共感を得た。



【深瀬会長挨拶】

先日、高津区の市民プラザにて「かわさき老人ホーム作品展」が開催された。この催しは当協会主催で文化事業委員会の活動の一つであり、各施設のご利用者が作成した創作品や習字などが展示された。今回は、平成23年10月4日～6日の3日間の日程で開催となり、川崎市内46施設、出展数約一千点が展示され、来場者数は約千五百名に上った。



【テープカット】

初日のオープニングセレモニーは当協会会長の挨拶およびテープカットと盛大に行われた。テープカットに参加した出品者・参加者代表の矢崎あや子氏（養護すえなが）からは、終了後、「とても楽しかった」と輝いた笑顔で感想をいただいた。



【来場者様子】

3日間は比較的のんびりしたムードであったが、会場からは、「すごい!」「きれい!」、「真似できない!」、「欲しい!」など感激の言葉が飛び交っていた。年に一度、創作品の集大成をお披露目するこの作品展は、ご高齢の方々による熟練された指先の器用さと柔軟で深い発想の広がりが集結している。来年も新たな作品に出会えることを期待したい。



【会場全体風景】



Vol.4

～楽しい福祉を皆さんに!!～

# らくふく瓦版

雇用情勢の悪化、また福祉・介護分野における離職率の高さも影響し介護人材の確保は喫緊の課題となっている。

委員会の中心で活躍している依田金井原苑施設長に最近の動向を聞いてみた

依田さんは最近の雇用情勢を次のように分析している。

「リーマンショック以来福祉人材の確保は、やや上向いたものの相変わらず厳しい状況が続いている。」その理由として3Kといふマイナスイメージもさることながら特に若い世代は福祉職場の【企業化】を求めていると指摘する。



【依田施設長】

雇用情勢の悪化、また福祉・介護分野における離職率の高さも影響し介護人材の確保は喫緊の課題となっている。

こうしたなか、事業協会人材確保委員会では優秀な人材を求めて様々な取り組みを行っている。



【委員会会議の風景】

具体的には、介護職として単に御世話を終わるのではなく、将来的にリーダー・相談業務等スキルアップが図れることや、施設運営・経営への参画ができるることを挙げ、若い世代の求める新たな施設像を語る。

こうした若者のニーズに応えていくため委員会として重点的に取り組んでいるのは、【福祉は魅力ある仕事なんだ】というプラス思考の下、地元学校の担当教諭への積極的なアプローチや一般大学の学校訪問に着手している。

そのため就職戦線に遅れることないよう雇用活動のスタート時期をより早めることが必要と言う。また実習生の受け入れの大切さ、実習を通して学生と施設との関係づくりを強調する。施設実習で【介護の面白さ、深さ】を伝えられたら大成功とも言つ。

今後の戦略については?との質問には大きく次の3つを挙げた。

## 【1】

交通至便で生活環境の整った川崎市の良さを広くアピールする

## 【2】

インターネットの活用を図ったインパクトの強い手法での施設APIール

## 【3】

時間帯や場所について職員が参加しやすい研修システムの支援や選学金制・制度の導入等川崎ブランドの創出

川崎で学んだ若者が川崎の福祉職場で活躍し川崎の福祉を大きく成長させていくそんな思いを熱く語る依田さんのまなざしが大変印象的でした。

## 福祉人材確保へ奮闘中！＜人材確保対策委員会＞

Vol.4

～楽しい福祉を皆さんに!!～

# らくふく瓦版



## 職員研究部会の活動報告

川崎市老人福祉施設事業協会では、施設長会における研修委員会において高齢者福祉施設の職種ごとの職員研究部会を組織し、年間を通じて様々な活動を行っている。今回は、そのなかの栄養士研究部会について紹介する。

栄養士研究部会は、平成5年11月に発足され、市内の高齢者施設が年々増加するとともに会員数も増え、現在は事業協会加入施設の栄養士45名で構成されている。研究部会には、部会長、副部会長、書記の3名の役員があり、この役員が中心となって年間4回の研修会の内容等を調整している。

去る平成23年11月22日(火)に第3回栄養士研究部会が高津区にある「大山街道・ふるさと館」に於いて、関東学院大学人間環境学部健康栄養学科の松嶋政三先生をお迎えして開催された。

今後は、他の職種の研究部会の活動も隨時ご報告させていただきます。

「経腸栄養剤の管理について～栄養量の策定・経腸栄養剤の選択～」というテーマで講義が行われた。施設入居者は経口摂取が難しく「胃瘻」等で栄養管理されている入居者が年々増えている現状から興味が高く、参加された栄養士の方々はメモをとりながら熱心に聞き入っていて、あつという間の2時間の研修会でした。

川崎市内において老人福祉に興味のある方、施設のご利用を考えている方、福祉職へ就職を希望される方など多くの方々に様々な活動を知つて頂けるよう引き続き努めて参ります。

今後も当協会の広報誌に掲載される現場の活きた情報を参考にして頂ければ幸いです。



## 編集後記

